

編輯室の内外

昭和の四年も、あと一ト月で暮れる、隨分がしがかった歳であつた、編輯係りとしては産業道路號を發行するやら、調査部は交通情勢調査を開始するやら、鐵道と自動車行政の統一を研究するやら、豫定された事業の殆どを爲し遂げたことは、會員各位後援の賜であつて深く感謝する。

萬國工業會議參列者の招待も、別項に報導した通り盛會裡に彼等外人を喜ばしめたことは成功と言はねばならぬ、此會議には道路工學の權威者から多數の論文が提出され、我が路政に貢獻する所が尠くない、では等論文を讀者に紹介することを計畫し編輯中であるが、二月號に登載することゝ爲らう。

編輯室の内外

道路法施行十週年記念號は、十二月大號として刊行することを豫報したが、論文の集つたもの頗る多いので到底十二月の間に合はない、で新年號と兼て特大號を發行することゝ爲つた、豫報に反するのは寔に心苦しい所であるが、十周年記念とすれば明年が適當だと言ふ異論もあつて、豫報違反の已むなきに至つた御寛恕を願ひたい。

折角心配かけて居た、鐵道省計畫自動車網も梟が附いた、夫れの内容は新紙で報導されてある通りで、我が路政には何等の干渉を受けてゐない、今、茲に吾等の健全であつたことを再言する。

緊縮内閣のときに、前内閣時代に起した道路や橋梁の工事が續々として完成し地方民を喜ばしてゐることは、一つの皮肉でもあるが、祝するときは大に祝するが良、當初盛大な起工式を擧げた祝意を無理

に抑え附けんとするやうなことは、所謂龍頭蛇尾で、今の内閣の緊縮政策に良く似てゐる、遠慮は要らない、嬉しいときには、祝へ、祝へ。(路政僧)

× × ×

本號定價 五十錢
一ケ年分 金 六圓

東京市麴町區大手町一丁目内務省内
發行所 社團 道路改良會
發行人 小島 效
發行兼 編輯者 小島 效

東京市小石川區諏訪町五六
印刷所 常馨印刷所
印刷者 堀江 關武